

自然に親しむ会

トラスト保全地の散策とタケノコ掘りを楽しむ

開催報告

ご好評をいただいている「トラスト保全地の散策とタケノコ掘りを楽しむ」このイベント。今年も多くの応募者の中から抽選で選ばれた48名の皆さんに参加していただきました。

まずはトラスト保全地周辺の自然観察です。4つの班に分かれ出発、春を待ちかねて、じっと我慢をしていた動植物が一斉に目覚め、私たちを迎えてくれました。

昼食をはさんで、さあタケノコ掘りです。今年はタケノコの生育が遅れ心配されましたが、何とか必要量を収穫でき、お持ち帰りいただくことができました。

また、バターナイフ、藁縄、ガリガチトンボ、知恵の輪そして竹製のカエルなどのクラフト作り、さらにタケの輪投げやタケぼっくりなどの遊びコーナーが設けられ、楽しいひとときを過ごすことができました。

ご協力をいただきましたボランティアスタッフの皆様、ありがとうございました。

日 時 平成23年4月29日（金・祝）
会 場 見沼田圃周辺斜面林（トラスト保全第1号地）
天 気 晴れ→曇り

★ 自然観察

ボランティアスタッフの皆さんの説明を聴きながら、トラスト保全地周辺を散策し、自然観察を行いました。



牧野理事（中央奥）から「自然観察の視点」について説明を聴く。ショカツサイ、タンポポ、マムシグサを例に「どこからどこまでが一つの花なの？」



咲き誇る野草を、夢中になって写生



小峯理事（右）から「野鳥観察の視点」について説明を聴く。シラサギという名野鳥やカラスという名の鳥はいません！



みんな！！何かいるよ？！



出発を前にストレッチ運動、十分身体をほぐして出発！



タンポポの綿帽子（そう果）飛ばしましょう

★ お弁当の時間です！

自然観察のあとはお弁当の時間です。



おなかすいたー



みんなでお弁当、おいしいナ！



みなさん！
おなかいっぱいになりましたか！？

★ タケノコ掘り

さあ、いよいよタケノコ掘りです。タケノコの地下茎の話聞いたあと十分手入れされたモウソウチクの竹林へ。1班と2班、3班と4班の2つのグループに分かれてタケノコ掘りを楽しみました。



牧野理事（左から2人目）からタケノコの話をお聴きしました。タケノコの茎は地下茎といって地中を横に這っているのです。この茎からタケノコが出て、垂直に伸びるタケは枝なんだそうです。



タケノコ掘りを始める上で大切なのは、タケノコを見つけることです。



おあさん、がんばって！



ボランティアスタッフのみなさんが、お手伝いします。



大きなのを見つけました。



こちらも大きい！！

★ クラフトづくり・遊びコーナー

会場には、クラフトづくりのコーナーや遊びコーナーが設けられ、他のグループがタケノコ掘りを行っている間なども、決して退屈することはありませんでした



退屈はさせません。広場ではクラフトコーナーが設けられました。



まずは、タケのバターナイフです。



知恵の輪をつくり、はずすのに苦戦！



藁を使って縄をつくっています。



こちらは遊びコーナー、輪投げに挑戦！



タケポックリで遊びました。